

持続可能な旅行・観光のSDGsプロジェクト中間報告  
～UNSDGsベースにした持続可能な観光を目指して～

国連CEFACT観光部会中間報告資料

STプロジェクト関連

2022年9月15日 14時～17時

# SDGsを持続可能な旅行・観光分野取組の検討について(中間報告)

STプロジェクトはSDGsの国連の開発目標から持続可能な観光のあり方について検討し、また同時にプロジェクト推進しているEps TAの成果と連携を可能にした観光情報連携によるトータルシステム構築への標準化と発展の一助となることを目指している。

STがSDGsに取組狙いは世界的にも各国及びローカルにおいても様々な観光が取り組まなければならない課題が地球環境に影響している現実。即ち観光の展開が、地域社会、天然資源、気候、経済に深刻な悪影響を観光が与える可能性が危惧されており、観光が二次的に与える影響は地球規模でグローバルに取り組まなければならない喫緊の課題と認識されている。

旅行者は外国及び地方を訪れて風景や風物・史跡にふれることや体験旅行は人々の生活に不可欠な側面もあり、社会・経済活動・観光が人々の生活に与えており欠かせない生活要素である。統計データから見ると世界の旅行者数はコロナ前の2017年に13億人を超えている。また過去の統計からも2009年の世界の観光産業の経済規模は5兆4,740億ドルと全GDPの9.4%を占めており、また観光関連の世界の雇用者数は2億1,981万人で、全雇用者数の7.6%であることから経済的な影響も無視できない。

この現状を踏まえて持続可能な観光を実現の方策をSDGsをベースに見直しSTプロジェクトの取組の成果がその一助となることを願っている。STプロジェクトでは結果の下記の5項目を中心に取組、その成果を持続可能な旅行・観光の必須の課題として取組んでいる。

- (1) SDGsから持続可能な観光を目指すためのビジネスガイドラインを提案した。
- (2) ビジネスガイドラインを達成するための旅行者・事業者が取組むべき行動を実践する行動プランを検討した。
- (3) ビジネスガイドラインの取組を観光事業者全てが日常的に評価し把握するための評価手法を提案した。
- (4) 観光地・旅行先は様々で地域でそれぞれが取組みSDGs達成のための運用組みを提示して体系化した。
- (5) 今後の課題はST取組のインフラには情報連携が欠かせないためDXの導入検討や観光の様々な場面で情報連携を可能にさせる必要がある。別プロジェクトで進めている「Eps TA」の体系化と融合した標準化を目指し、さらに既存の取引・情報提供・活用形態と融合させることが今後の実践的な課題である。

# SDGs達成のための持続的可能な旅行・観光の主な検討テーマ

2020.4.15ブ

ロジェクト資料から

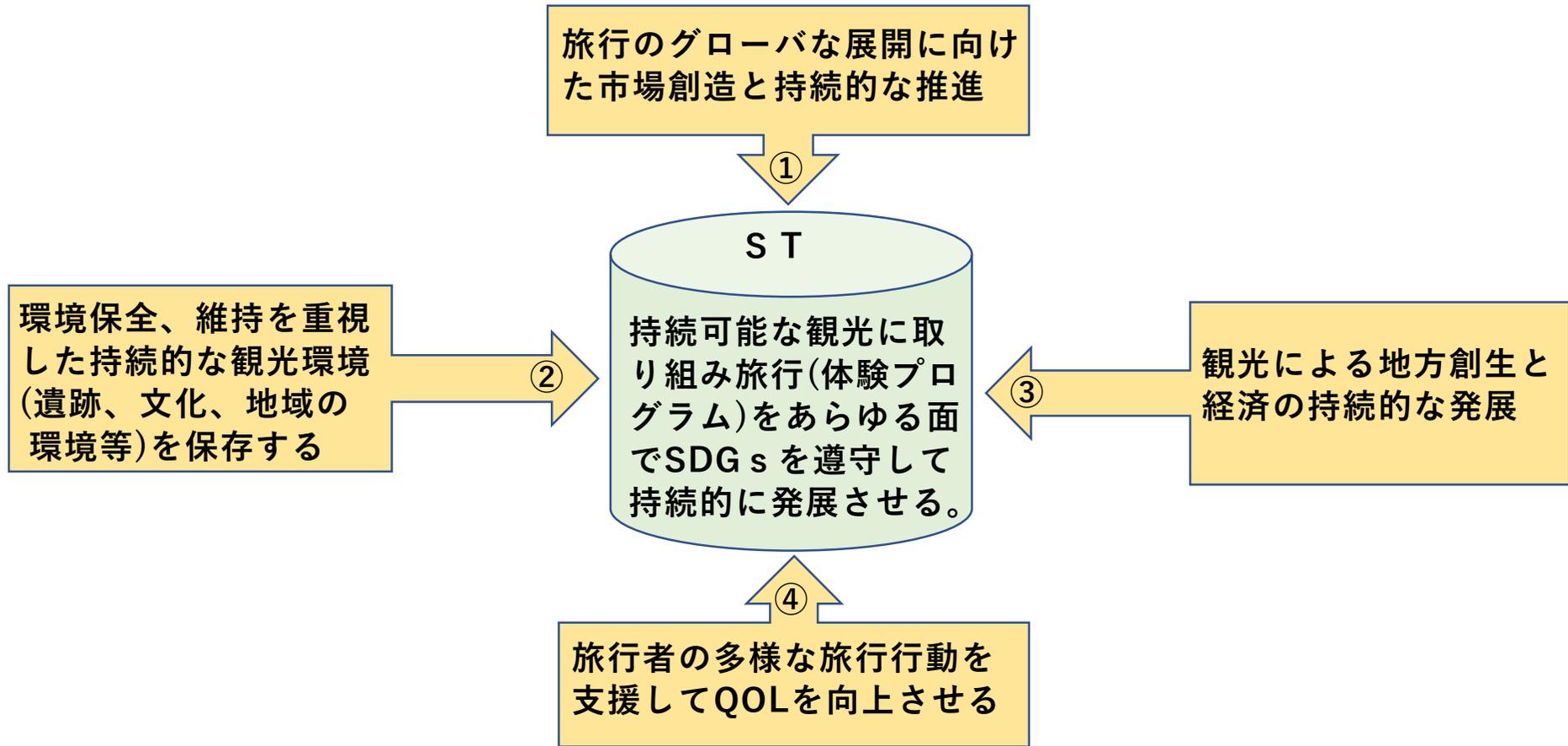


図-1 SDGs目標に向けた旅行・観光検討の4つのファクター

# 1. 持続可能な観光を可能にするビジネス基準作成と取組概要

1. 貧困撲滅
2. 飢餓の撲滅と食糧の安全確保
3. 健康な生活、福祉の推進
4. 公平な教育機会
5. ジェンダー平等
6. 水、衛生へのアクセス
7. 持続可能で近代的なエネルギー
8. 雇用、経済成長
9. インフラの充実、産業化の促進、イノベーションの拡大
10. 国家間の不平等の是正
11. 持続可能な都市、居住地の促進
12. 持続可能な消費と生産
13. 気候変動に対する対策
14. 海洋、海洋資源の確保
15. 陸上生態系、森林資源の確保、砂漠化への対処
16. 平和で公正な社会の構築
17. SDG推進に向けた国際的連帯の活性化

ターゲット：169  
(指標：244)

## SDGs達成の取組

持続可能な観光を実現するためのビジネス基準を生成

ビジネス基準達成を目指した行動プランを観光地域の情勢に合わせて作成し観光事業者全てが取組む

SDGs取組成果は達成度評価手法により確認して持続化する

## 2. STガイドライン作成と取組目標について

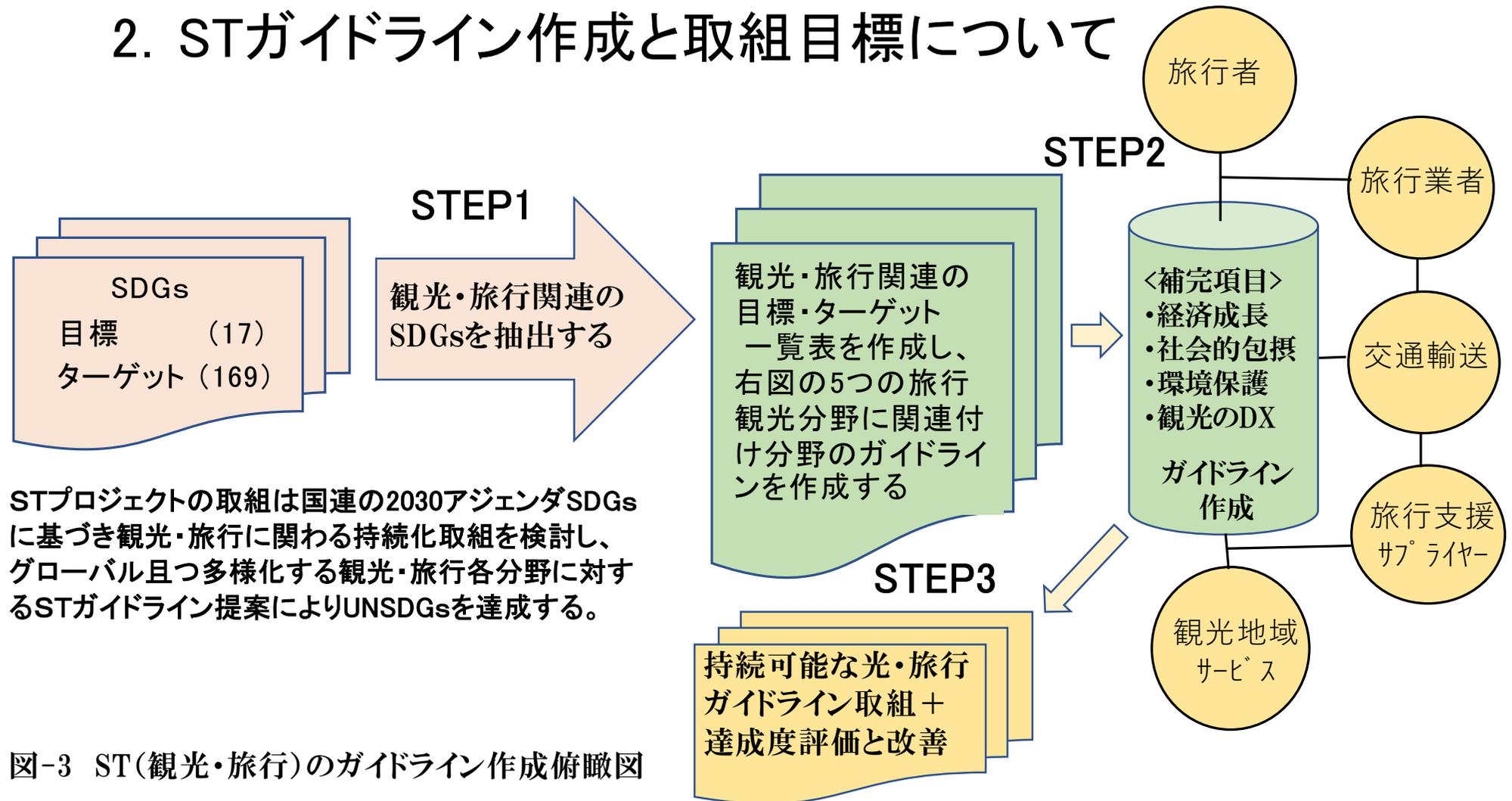


図-3 ST(観光・旅行)のガイドライン作成俯瞰図

### 3. 持続可能な観光のビジネス基準作成の検討工程表

ST工程	持続可能な観光ビジネス基準の作業内容	再度検討すべき事項(検討中)
STEP1	SDGsから選択した目標・ターゲットから持続可能な観光ビジネス基準を選択し、取組対象を観光関連分野を5つに分類してSDGsを達成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光・旅行で取組むべきSDGsの選択は過不足ないか</li> <li>・SDGsから持続可能な観光の取組むべき目標・ターゲットからの観光ビジネス基準は適切か</li> </ul>
STEP2	観光関連分野はビジネス基準達成に取組むべき行動プランを作成する。この行動プランは夫々が実情に合わせて作成するが、参考となる指標を提供して行動プラン作成作業を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ビジネス基準から観光関連分野が取組む行動プラン作成のための指標は予め参考指標として提供するが、この指標が適切か再確認する。また各観光分野でこの指標に寄らないでビジネス基準達成の行動プランも可能とする。</li> </ul>
STEP3	観光関連分野が定めた取組行動の成果をビジネス基準達成度評価は予め定めた5段階の評価基準により達成度評価を得る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5段階達成度評価基準は各評価段階が各段階1点ずつの加点によるウエイトで達成状況を%で表示する。</li> <li>・表示は個々のビジネス基準の表示またはトータル表示とする。</li> </ul>
STEP4	各観光関連分野の状況は観光成熟度や地域により異なっている。このため評価基準達成度を競うのではなく、その実態に合わせたビジネス基準取組を評価し他地域等との評価対比は実施しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な観光ビジネス基準は各観光分野が自ら作成したビジネスに対する達成度評価で総合的に対比する達成度評価基準ではない。</li> </ul>
STEP5	STEP1～3で求めた観光ビジネス基準成果によりSDGsの達成及び取組の適応性を判断してさらにS持続可能な観光を実現する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス基準達成度は評価を競うものではなく、成果を公表して持続可能な観光への取引を公表する。グローバル的にはCO2削減やゴミ減少等の統計値での成果により持続可能にする。</li> </ul>

## 4. STガイドライン作成のデータプロセス

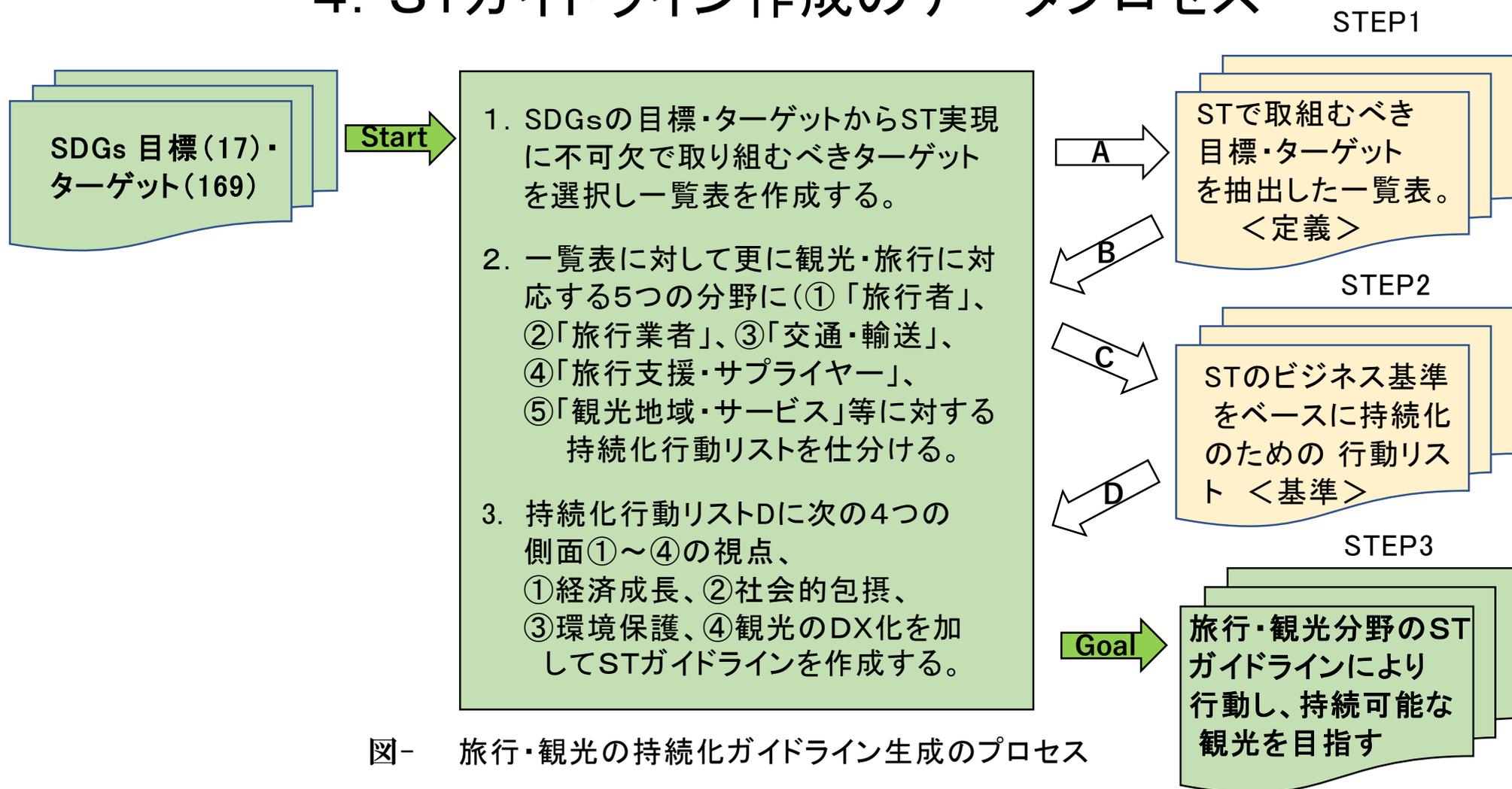
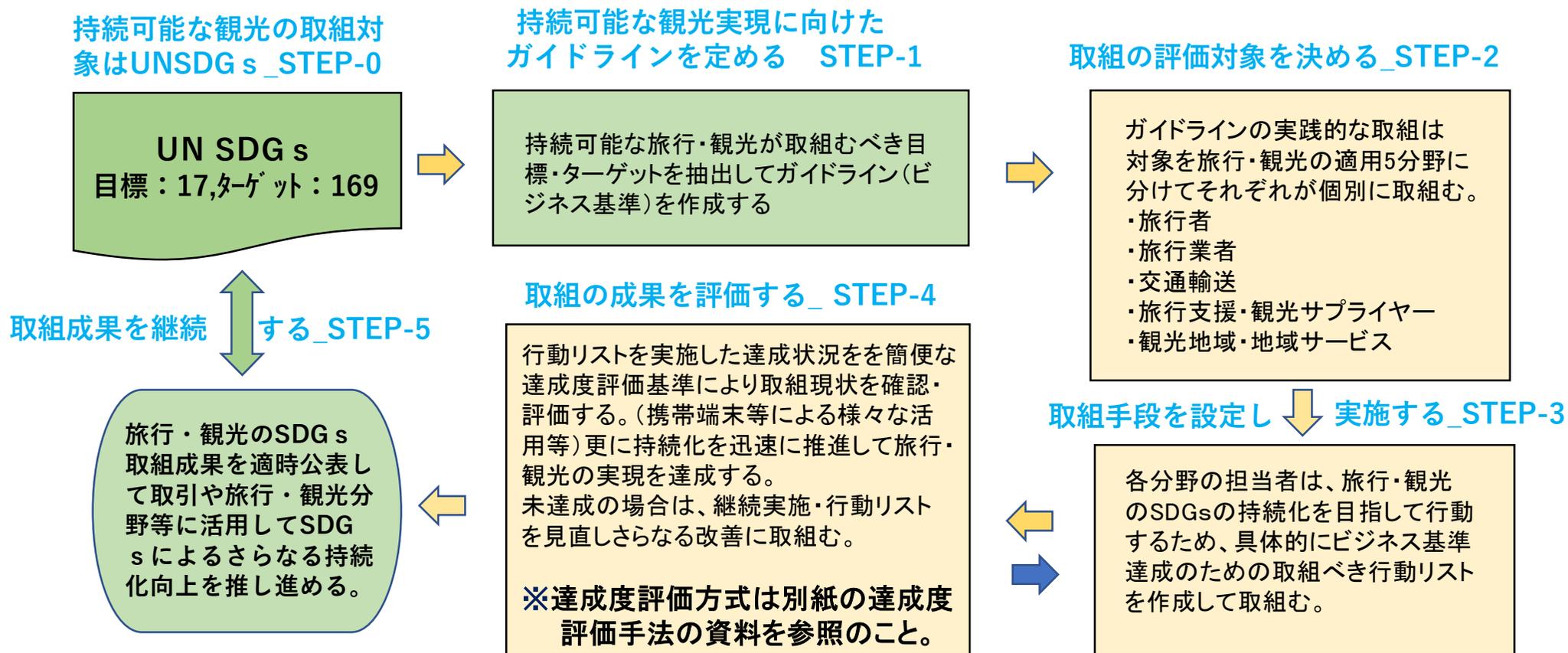


図- 旅行・観光の持続化ガイドライン生成のプロセス

# 5. UNSDGsの持続可能を目指す旅行・観光分野の取組の考え方 (1/3)



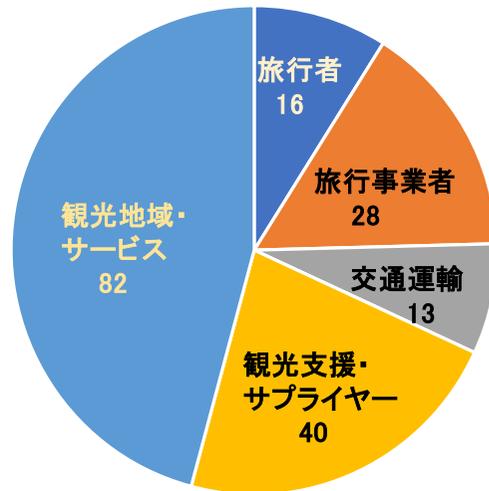
# 5-1. UNSDGsの持続可能を目指す旅行・観光分野の取組の考え方(2/3)

観光5分野がビジネス基準の取組は目標を分類を4区分に分けて行動する提案の事例(案)

持続可能な観光実現のための  
ガイドラインを生成する  
\_STEP-1

持続可能な旅行・観光が取組むべき目標・ターゲットを抽出してガイドライン(ビジネス基準)を生成する。

取組の分5野が取組むべき  
ビジネスガイドラインの割合



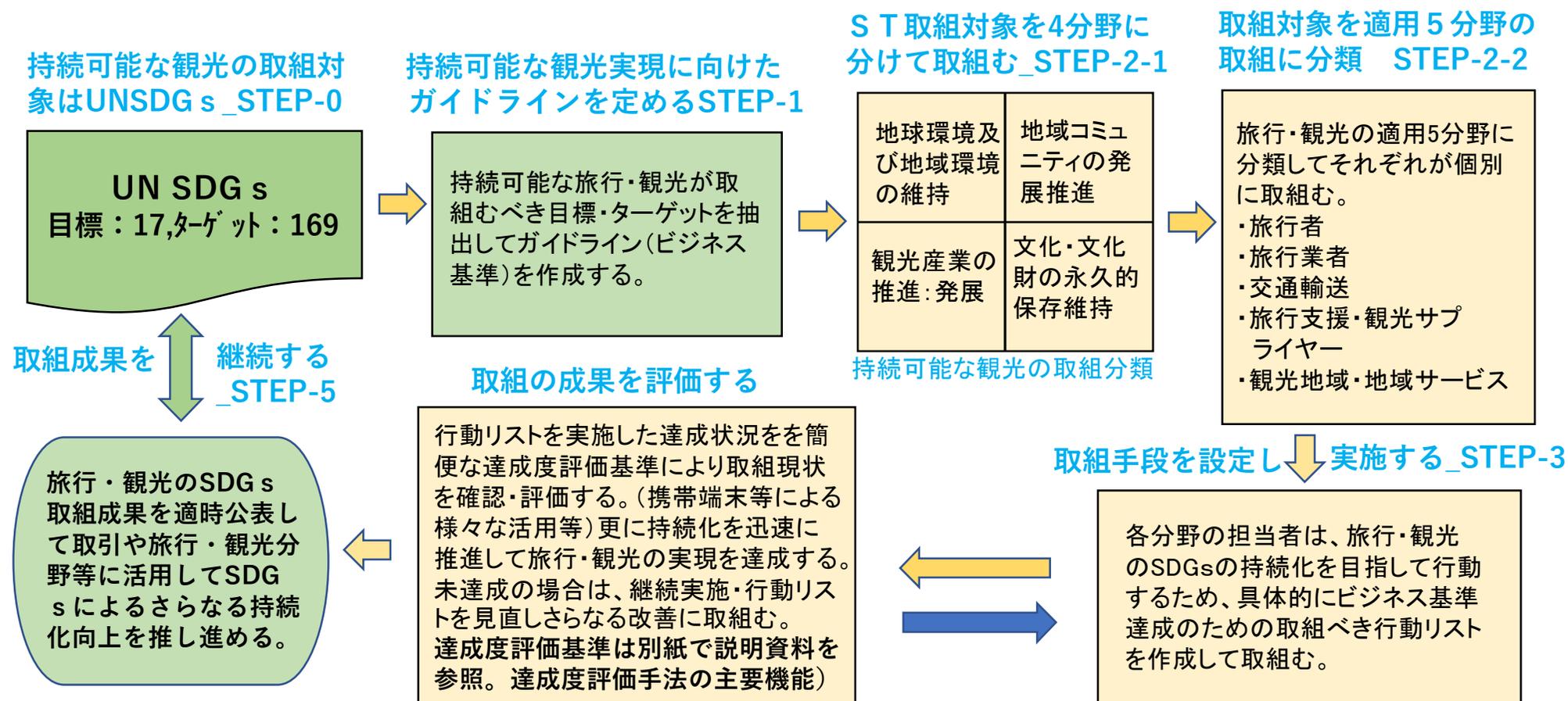
円グラフ内の数字はビジネス  
基準179項目の内訳を示す

S T取組対象を4区分に分けて  
整理して取組む\_STEP-2-1

地球環境及び地域 環境の維持	地域コミュニティの 発展推進
観光産業の推進と 発展	文化・文化財の 永久的保存維持

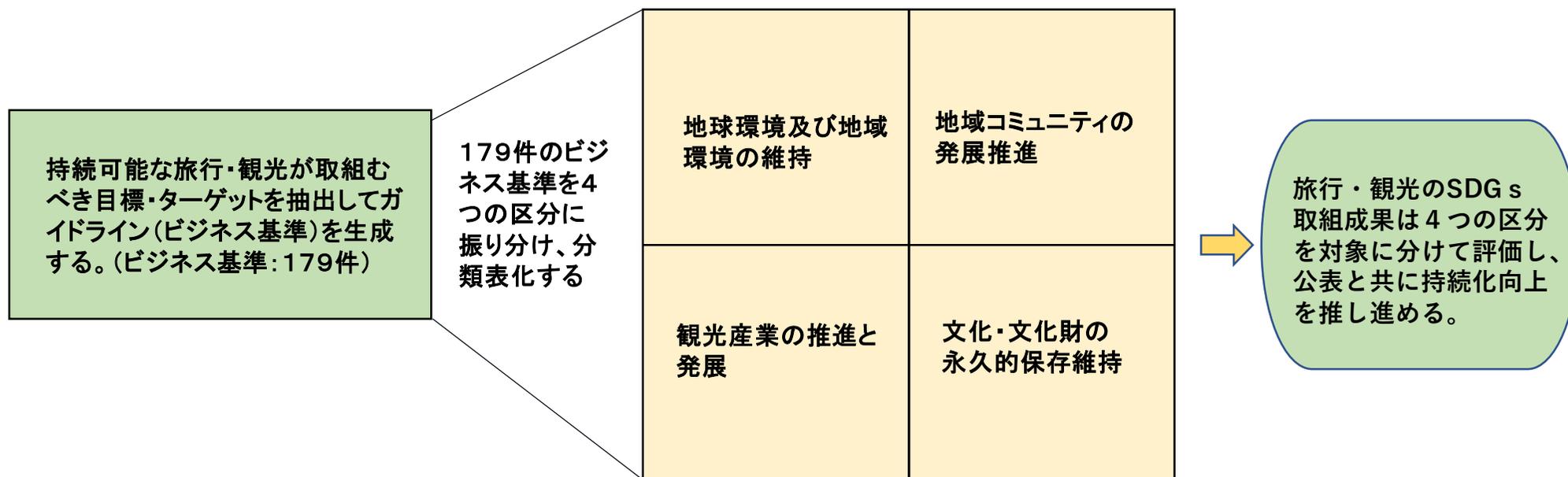
持続可能な観光の取組分類

## 5-2. UNSDGsの持続可能を目指す旅行・観光分野の取組の考え方(3/3) (案2): SDGsのビジネス基準を達成目標を4分野に分類して取組む



### 5-3. UNSDGsの持続可能を目指す旅行・観光分野のST取組変更(案)

これまでSTビジネス基準をターゲットごとに評価することにしてきたが、個々の達成度が観光産業全体として評価対象がプロジェクトの試算で179項目あり、これを達成度評価基準として提示した場合非常に分かりにくいいため、下図に示す4つの区分に振り分けて分類してSDGsの達成状況を分かりやすくする手法に変更する。



持続可能な観光の取組分類

## 6. STプロジェクト報告書作成の状況

- 当プロジェクトはUN/CEFACTの旅行・観光部会の計画に沿って取り組んでいるが、2019年のコロナ感染症でプロジェクト活動は台湾を中心するチームと共同作業をすることなく2022年1月までプロジェクトプロポーザルをベースにそれぞれが個別に取り組んできた。

2月以降は台湾の戴さんをプロジェクトリーダーとして一本化して実施している。

現在は統合するための作業に取り組んでいる。具体的には台湾はホワイトペーパーの作成に取り掛かっており、JTRECのプロジェクトチームは台湾・日本チームで方向所の整合性を取  
ため、以下の2点について整合性を図る提案している。

(1) Sustainable Tourism達成の評価分類の共有化。特にSTに「旅行者」を加える提案。(次ページ)

(2) SDGs達成度評価はJTRECが提案のEMMI手法による5段階評価を提案中。

(3) STの評価対象を台湾の8分野＋旅行者、JTRECの観光5分野を調整して1本化する。

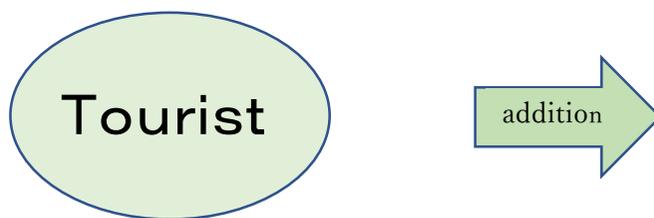
(JTRECから2022.8.09に提案文書を送り、8/24日に再度文書を送った。現在、台湾側でJTREC提案を検討中である。)

以上

## (参考) JTRECの旅行・観光分野のST取組の提案

(1) 持続可能な観光ビジネス基準に「旅行」を追加する提案。(中込リーダー)

Add travelers to the example of creating business standards for sustainable tourism



ページ数：7 ページ、Word文書



(2) 持続可能な観光ビジネス基準の達成度評価手法 (板垣サブリーダー)

ページ数：7 ページ、Word文書

ありがとうございました。  
END